



## 「おばあちゃんと僕の約束」

2024年制作のタイ映画。遺産目当てで祖母に近づく孫の話を中心に、中系タイ人家族三世代の生き方を描いた作品です。

大学を中退しゲーム三昧の毎日を送るエムは、従妹ムイが金持ちの祖父を介護して豪邸を相続したと聞いて、「自分の祖母は最近ステージ4の癌だと判明したばかりで一人で暮らしている。祖母の世話をしているか」と考え、遺産をもらえるのではないかと考えます。こうして、祖母メンジュとエムの二人暮らしが始まります。早朝からお粥を売って生計を立て、毎日先祖に感謝し慎ましく暮らしている祖母。しっかり者で率直な物言いの祖母に叱られどおしのエムでしたが、その生き方に日々触れる中で彼の考えにも変化が生じ、祖母の気持ちも思いやれるよう

になります。メンジュには、価値観も生き方もそれぞれ違う三人の子がおり、彼らの思惑とメンジュの思いが絡まり合って物語が進んでいきます。

エムはミュージシャン・俳優でタイの人気スターのビルキンが演じています。片や祖母メンジュを演じたのは78歳で本作が映画デビューというウサー・セームカム。彼女の素朴な演技が魅力的で存在感があり、祖母と孫の噛み合わない会話はユーモラスです。そして、看護師のスキルを活かしてきばき祖父を介護する、ムイのキャラにもどこか惹かれます。

他にも見どころは多く、冒頭のお墓参りシーンやお葬式の作法や慣習にはびっくりしました。邦題の意味はラストで明らかになります。

大阪で昨年6月に公開。

## おばあちゃんと交わした愛に満ちた「約束」とは

人間は呼吸を止めると死んでしまいます。社会も呼吸を止めると死んでしまいます。呼吸を止めた社会、ものが言えなくなった社会では、一人ひとりが声を上げて、権力の暴走を止めることができず。ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるパレスチナ人の虐殺、トランプ大統領によるベネズエラ大統領の拉致に対しても、声が上げにくくなっています。排外主義を掲げる政党が議席を増やし、政府が大軍拡をすすめるスパイ防止法制定を狙うもとも、表現の自由を最大限に生かして「この社会の呼吸を止めないこと」が必要です。

この社会の呼吸を止めないこと  
安田 菜津紀  
(ジャーナリスト)  
(1987年～)

心に響くひとこと

## 16. ミニ映画が「えい」が



出発前の打ち合せ (左から2人目が原田さん)

反核ライダーの仲間にも呼びかけ、機動力のあるバイクに、救援物資を積んで被災者宅に運びました。アレルギー対応の食料品を運ぶ時は、地図を頼りに倒れた電柱などバイクですり抜けて何とか届けました。待ち望んでいた方の笑顔を見て、心底よかったですと嬉しかったです。災害が収まれば、直ちに復旧・復興をめざして、住民の暮らしを立て直すことを最優先にすべきです。どんな災害でも住民に役立つボランティアを自治体に働く仲間と取り組んでいきたいと思っています。

(吹田市職労 原田達也さん)

## 反核ライダーの仲間と救援物資を被災者宅に



大阪府東部地震災害支援バイク隊を組んで

## 大阪自治労連の災害支援ボランティア 2



1995.1.17  
阪神・淡路大震災  
(後編)

## 甚大な被害の被災地へ好きなバイクで救援活動

忘れもしない1・17朝 手探りで何をすべきか

明け方の大惨事で想像を絶する映像が流れてきました。同僚から「避難所で無事だ」と連絡が入り、バイクに乾電池や食料・燃料等を積んで被災地に向かいました。

被災地では、多くの家屋が被害に遭って、電源も十分確保できない状況でした。被災地情報の広報紙が配布できない状況だと聞き、駅員の了解を得て、増し刷り分を梅田駅改札前で配布すると、多くの人が手を伸ばし一瞬でなくなりました。

## Culture Navi かるちがーナび

### 作りませんか



### ホイコーロー (回鍋肉)

岸和田給食連絡会

協力：現業評議会・給食部会



### 材料 (4人分)

豚肉60g、サラダ油少々、にんじん30g、玉ねぎ60g、キャベツ160g、ピーマン20g  
調味料A (赤みそ小さじ2、トウバンジャン少々、テンメンジャン小さじ2、濃口しょうゆ小さじ2)

### 作り方

- ①豚肉は3cmに、にんじんとピーマンは短冊に、玉ねぎはうす切りに、キャベツは色紙切り。
- ②油で豚肉を十分炒める。
- ③火が通って少し白くなってきたら、野菜を加えて炒める。
- ④Aで調味する。

## 今月の記念日 2月15日 春一番名付けの日

1963年2月15日の朝日新聞で、初めて「春の突風」という記事が掲載され、これに由来して「春一番名付けの日」としています。立春から春分までの間に、初めて吹く暖かい南よりの強い風が吹き、日本海で低気圧が発達して、強風や急な気温上昇、突風を伴うので「春の嵐」とも呼ばれています。気象庁では「春一番」の到来を毎年発表しています。冬の終わりを告げる親しみのある言葉です。